

## 第28回松本歯科大学総合歯科医学研究所特別セミナーのお知らせ

日時： 3月17日(月) 午後5時より

場所： 実習館2階総合歯科医学研究所セミナールーム

演者1 : 加藤隆史 (モントリオール大学研究員)

モントリオール大学歯学部・医学部

モントリオール大学神経科学研究所

モントリオールサクリカ病院睡眠生体リズム研究所

タイトル: **ブラキシズムの病態生理における最新の知見**

講演要旨:

ブラキシズム(BR)は覚醒時や睡眠時に発生する顎顔面筋活動で、歯科領域では歯牙の咬耗、補綴修復物の破損や顎顔面疼痛(例:顎関節症)との関連が疑われています。覚醒時BRは噛み締めを特徴とすると推測されているが、精神的ストレスなど病態因子は不明である。睡眠時BRは睡眠中に発生する不随意性顎運動でしばしば歯軋り音を伴う。睡眠時BRに関連する顎運動の約90%がリズム性咀嚼筋活動(RMMA)を示す。また健常者の60%で歯軋りを伴わないRMMAが観察されるが、睡眠時BR患者ではその筋活動量・発生数共に健常者よりも高い。精神的ストレスや神経伝達物質の睡眠時BRにおける作用機序は不明で、咬合等の末梢性因子の直接的関与は否定されつつある。一方で、睡眠中の生理学的変化との強い関連が示唆されている。特に覚醒反応が直前に発生するため睡眠時BRは中枢性に発生するものと考えられる。本セミナーでは、ブラキシズムの病態生理に関する最新の知見を紹介する。

総合歯科医学研究所 所長 小澤英浩

顎口腔機能評価学研究部門 森本俊文